

事業評価書

補助事業名	交通施設：市道小10822号線外4道路改良工事				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市中延地内				
補助事業の成果の目標	<p>本路線は、中延地区の住民が病院や学校等のある小川市街地へ向かうための生活道路として利用されているとともに、災害時には、小美玉市医療センターや消防本部と地域集落を結ぶ非常に重要な道路である。</p> <p>しかし、現道は全線にわたり狭隘なため、車両同士の離合が困難な状況であり、さらに道路側溝が未整備であることから、大雨時には雨水が民地に入り、水たまりができてしまうことで住民の生活環境に支障をきたしている。</p> <p>よって、これらを改善するため、現道の道路拡幅及び道路側溝の整備を行い、交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 対象地区(中延地区)人口/世帯数：1,024人/361世帯 (平成26年3月31日現在)</p>				
補助事業の内容	道路改良工事 L=250m W=4.0m				
補助事業の始期及び終期	平成15年度から平成26年度				
事業費及び交付金		25年度以前	26年度	27年度以降予定	計
	事業費	円 211,799,268	円 31,212,000	円 -	円 243,011,268
	交付金額	円 191,561,000	円 29,000,000	円 -	円 220,561,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民へ周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 当路線の拡幅工事が全て完了した。地元区長に対して意見を聴取したところ、見通しが良くなったおかげでスムーズに通行できるようになり、側溝の整備により宅地や畑に雨水が流れ込まなくなったとのことで交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上が図られたと考える。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 工事看板と地区回覧にて調整交付金事業である旨記載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設：耐震性貯水槽設置												
補助事業者名	小美玉市長												
実施場所	小美玉市小川地内 他												
補助事業の成果の目標	<p>本市の旧小川町は、旧美野里町や旧玉里村に比べ、消火栓や防火水槽等の消防水利の整備が未だ不十分な地域である。</p> <p>旧小川町では、平成24年1月に10棟が全焼、4棟が部分焼となる火災が発生し、1名の焼死者を出した。また、東日本大震災時には、火災発生が1件で大惨事に至らなかったが、断水の影響で消火栓が使用できない状態となった。</p> <p>そこで、先般の東日本大震災や今後想定されている首都直下型地震等の予期せぬ災害に備え、消火活動に必要な水源を確保するために、耐震性貯水槽を整備し、住民が安心して安全な暮らしができる環境に寄与することを目標とする。</p> <p>【参考指標】整備地区の人口／世帯数</p> <table border="0"> <tr> <td>佐才地区</td> <td>841人／286世帯</td> </tr> <tr> <td>飯前地区</td> <td>677人／230世帯</td> </tr> <tr> <td>山川地区</td> <td>588人／207世帯</td> </tr> <tr> <td>本田町地区</td> <td>980人／368世帯</td> </tr> </table> <p>(H26. 4. 1現在)</p>					佐才地区	841人／286世帯	飯前地区	677人／230世帯	山川地区	588人／207世帯	本田町地区	980人／368世帯
佐才地区	841人／286世帯												
飯前地区	677人／230世帯												
山川地区	588人／207世帯												
本田町地区	980人／368世帯												
補助事業の内容	工事1基 実施設計3基												
補助事業の始期及び終期	平成25年度から平成27年度												
事業費及び交付金		25年度以前	26年度	27年度以降予定	計								
	事業費	1,008,000円	15,541,200円	20,692,800円	37,242,000円								
	交付金額	800,000円	14,300,000円	15,680,000円	30,780,000円								
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>本田町地区における耐震性貯水槽の整備が完了した。地元区長に対して意見を聴取したところ、耐震性貯水槽が整備されたことにより、住民が安心して安全な暮らしができる環境が図られたとのことで成果目標が達成されたと考える。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]</p> <p>工事看板、地区回覧、防火水槽の標識（支柱）に調整交付金事業である旨記載をした。</p>												
事業の改善措置及び今後の対応	無												
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無												

事業評価書

補助事業名	教育文化施設：小川文化センター電気設備改修工事				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市小川地内				
補助事業の成果の目標	<p>本市小川文化センターは、市民の文化交流及び教養の向上を図る拠点施設として、必要不可欠な施設である。</p> <p>本事業の対象となる自動火災報知設備や非常放送設備は、昭和57年の開館後、既に31年が経過し、平成25年以降の消防署による消防用設備点検時において、動作不良のため改修を要するとの指摘を受けている。</p> <p>火災等の非常時において、当施設が作動しないことは来館者の生命を守る観点から絶対に許されないため、本事業を実施することにより、市民が安全に利用できる環境を整える。</p> <p>【参考指標】 年間利用者数/年間利用日数：延べ63,213人/286日（平成25年度）</p>				
補助事業の内容	小川文化センター自動火災報知設備・非常放送設備改修				
補助事業の始期及び終期	平成26年度				
事業費及び交付金		25年度以前	26年度	27年度以降予定	計
	事業費	円 -	円 6,458,400	円 -	円 6,458,400
	交付金額	円 -	円 5,400,000	円 -	円 5,400,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 平成27年1月7日の消防署による本事業の完了検査、並びに2月8日の消防用設備等検査において、消防設備が正常に作動していることを確認した。更に3月4日の火災訓練においても指摘はなかった。また、2回目の消防用設備点検を7月14日に実施し、消防設備が正常に作動していることを再度確認した。この事により、成果目標が達成されたと考える。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 工事看板、インフォメーション、パンフレットに交付金を利用した事業である旨を記載し、来館者に広く周知したところである。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	福祉に関する施設:小美玉市公共用バス整備基金								
補助事業者名	小美玉市長								
実施場所	小美玉市内								
補助事業の成果の目標	<p>現在、小美玉市では地域住民の社会福祉活動の足として市が所有する公共用バスを必要とする各種団体に貸し出している。</p> <p>当市の公共用バスは、既に10年以上を経過し、総走行距離も20万km以上であることから、修理や部品交換が年々多くなっており、近年では団体が必要とする時に貸し出すことができないケースも多々あった。</p> <p>そこで、常に万全な車両で貸し出すことができるよう、現有車両を修理、点検、更新することで、円滑な社会福祉活動ができる環境の確保を図る。</p> <p>【参考指数】 平成25年度の公共用バスの延べ利用団体/利用日数：団体687/711日</p>								
補助事業の内容	市が所有する公共用バスの修繕及び更新								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成25年度から平成33年度 基金の処分:平成26年度から平成34年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処 分 額 (B)	基金 残 額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
25	8,900,000					8,900,000		8,900,000	
26	8,000,000					8,000,000	8,586,000	8,314,000	8,586,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 26年度にバス1台を更新し、利用対象である福祉団体に順調に利用されている。福祉団体にアンケート等調査を行った結果、「スケジュールを変更することなく希望した日時にバスを借りることができた」「時間どおりに目的地まで連れて行ってくれる」等の声が挙がっている。このことから当事業により、円滑な社会福祉活動が確保できたものと考えられる。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 交付金を活用した旨が分かるようにバスの側面にステッカーを貼り、車内にも掲示して利用者及び地域住民へ周知を図った。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								